

2021年 敬老の日レポート

2021年9月20日、今日は敬老の日。

僕は起業してから
生まれ育った群馬を出て
全国をふらふらしたり、

東京⇔沖縄を行き来したり、

だいぶ自由な生活をしながら
複数の事業を回しています。

文章を書き、
収入はほぼ自動化してるので、
常識的にみたらあり得ない生活をしてると思われるでしょう。

で、月曜の午後、
ちょうどいま浅草の町を散歩していて、
目の前にはスカイツリーがあります。

太陽があまりにも気持ちいいので、
縁石に腰を降ろし、
日光を全身で浴びながら
スマホでこの文章を書いています。

敬老の日。

ちょっと思うことがあるので、
今の感情や行動を残しておこうかなと。

だいぶ個人的な話になるので、
ビジネスやお金稼ぎに関する記事は
他の記事を読んでくださいね。

おすすめ:<https://f-lifelog.com/archives/4839>

祖父母との関係と拭えない過去

僕はこれを書いている今、20代です。

祖父母もまだ健在。

ただ、おじいちゃんの体があまりよくなく、このまえは心筋梗塞で倒れて生死をさまよっていました。

おばあちゃんは癌などいろいろありましたが、今はおおむね元気です。

で、僕はかなりのおじいちゃんっ子、おばあちゃんっ子として育ってきました。もう幼い頃からずっとです。

一緒に屋根の下で育ってきたし、
もうほんと、だいぶ甘えてきたと思います。

かなり小さい頃の話でいうと、
僕は夜中に目覚めて泣き叫ぶという
鬼迷惑な子供だったらしく、

よくおばあちゃんを叩き起こしては
朝方までドラえもんの鑑賞に
付き合わせてたみたいです。

今でも覚えてます。

おばあちゃんが寝そうになると
「寝ないで！」と怒る僕。

ドラえもんという素晴らしいコンテンツを
それだけ一緒に観たかったのでしょう。

小学生の頃も、
中学生の頃も、
高校生の頃も
ずっとお世話になってきました。

おじいちゃんは今役の頃、
ダンス屋として商売をしていました。

自営業の、一匹狼です。

人と群れることが嫌いで、
我が道を行く、みたいなスタイル。

なので、おじいちゃんはよく
トラックに乗っていました。

商売を畳むとき、
大型トラックから小型トラックに乗り換え、
それからずっと小型トラックで
スーパーに行ったり趣味の銭湯に行ったり。

助手席に乗って、
一緒に遠くの温泉に行ったこともあるし、
犬を連れて近くのショッピングセンターに
お出かけしたこともあります。

高校生の頃。

僕は中学のときに

しぬほどいじめられてた経験に恐怖を覚え、
少し遠くの高校を選びました。

当時は卓球をがんばっていて、
それなりに成績を取っていたので、

「卓球推薦で〇〇高校に行きたいんだ」

と建前では言っていましたが、
あれは半分ほんとで半分うそで、

本当は、遠くに行きたくて、
逃げたかったんだと思います。

電車に乗って、
遠くの学校に向かうのが面倒な日が

何度もありました。

そういう時はおじいちゃんが
例の小型トラックで送り迎えをしてくれて。

何も文句を言わず、ただただ、
優しく送り迎えをしてくれたのでした。

ちゃんとあの時、
もっとありがとうって
言えばよかったなと思います。

僕はバカだったし、
当たり前だと思っていた。

当然、ビジネスのビの字も
知らない頃でした。

いつからだろうか、
僕が祖父母の身長を越してしまったのは。

あれだけ迷惑をかけて、
あれだけお世話になってきたのに、
気づいたら僕よりだいぶ小さくなっていた
おじいちゃんとおばあちゃん。

たしか、高校生か大学生の頃、
喧嘩とかして、本当にひどいことを
言ってしまったこともあります。

あまり詳しくは覚えてないんだけど、

「早くしんでしまえ」

みたいな。

思い出すだけで泣けてきます。

というか泣いておる。

寿命から考えると、

どう考えても自分より早くしんでしまうの
に。

2021年の敬老の日、9月20日、

この日におじいちゃんとおばあちゃんが
まだ生きてるのは奇跡です。

来年にはしんでるかもしれない。

おじちゃんもどうなるか分かりません。

「早くしんでしまえ」

言葉には魔力があって、
それは、言われた方も
ずっと覚えてたりするけど、
実は言った方にもずっしり残るということ。

裏切られるより裏切る側の方が
最終的につらくなる、みたいな感情。

ずっと残るんですよね、
自分が相手を傷つけるために
放った言葉というのは。

今となっては言葉を扱う仕事もしています。

自分が紡いだ言葉で何百万、
何千万というお金を動かしている。

だからこそ、
言葉の力の凄まじさを知っているのです。

たぶん、自分が恩知らずだったこと、

やってきたこと、言ってしまったことは、
一生後悔するんだと思います。

拭えない過去。

だからこそ目一杯に生きなきゃいけないし、
ちゃんと恩返しをしていかなきゃなって。

おじいちゃんが心筋梗塞で倒れた日、
たまたま僕は実家にて、
たまたま庭の倉庫で遭遇しました。

目の前で、僕の腕にもたれながら、
小さく息を吐いて、
そして呼吸が止まる瞬間を見ました。

母がきて、どうしよう、
おじいちゃんがしんじやう、と、
顔をぐしゃっと歪ませたように泣いて、

それを見て僕も泣いて、
救急車が来るまでの時間、

ああ、おじいちゃんは
一匹狼だったけど、

かっこよく生き抜いて、
ここで人生を完結させるんだ、
と悟りました。

ぜんぜん恩返しできてなかった気がするし、
ごめんね、でもありがとね、と。

おじいちゃんが倒れた日、
もう無理だろうなと思い、
涙が止まらなくて、

深夜、

近くのコンビニで
普段は買わないのに強めのお酒を買い、
ひとりで飲んだのですが、

こういう時に限って全然酔えず、
いつもはめんどい電話をかけてくる
友人からもこういう日に限って電話が来ず。

病院側からも

「意識が回復することはほぼないと思いま
す」

と言われ、
絶望的な状況だったんですけど、

でも、結果、奇跡的な回復力で蘇生しました。

これは本当にびっくりしたし、嬉しかった。

ただ心臓はかなり弱ってるし、
だから来年の敬老の日まで
生きていられるかは分かりません。

長生きしてほしいけど、
長生きだけが全てじゃない気がするし。

おじいちゃんが倒れた日の感情や記録は、
日記感覚で音声とメモに
残してあるのですが、
それは公開することはないでしょう。

自分用かなと。

本当に当たり前の事実ですが、
人はしにます。

なんの前触れもなく
いきなりしんでしまうこともある。

そしてしんでから、
残された人たちは後悔します。

もっと優しくしてあげればよかった、
もっと言葉で想いを伝えておけばよかった、
と。

僕はおじいちゃん、
おばあちゃんを目の前に
自分の感謝の気持ちを伝えようとすると、

涙がこぼれてきてしまい、
だからあまり面と向かって
伝えられないのです。

それは多分、過去、

ひどいことを言ってしまったこととか、
迷惑をかけてきたとか、
諸々の自覚があるから、

申し訳なさの気持ち
膨らんでしまうと同時に、

やり場のない想いと、
感謝の気持ちが溢れてきてしまうからだ
と思う。

なかなか、直接伝えるのって難しいです。

でも、今度またちゃんと伝えようと思う。

いままで何度か手紙は送ってきました。

文章には想いが乗ります。

改めて今の僕から

それぞれに手紙も書こうかな。

僕は異性愛者じゃないので、
異性と結婚して
子供を産むことはできません。

おばあちゃんから
「はやく孫の顔が見たいなあ」

と言われるたびに
胸がズキンと痛むのですが、

それに関しては
応えることができないんですよ。

でも、本当のことを言わないというのも、
優しさの一つだと思っています。

だから、おじいちゃんと
おばあちゃんには言わない。

でも、孫の顔は見せれないけど、
あなた達の優しさと愛のおかげで、

いま自分は本当に幸せで、
楽しく自由に生きてるんだよ、

ということは、
今度の手紙にでも
書き記しておきたいと思います。

そして、おじいちゃんもおばあちゃんも、
ずっと、永久に幸せでいてほしいと
願ってます。

それは肉体の有無に関わらず、
生死関わらず、永久に、です。

これは個人的な考えですが、
死者とは、いつかどこかで、
時間軸を超えて、お互いの形を変えて、
また会えるんじゃないかと思っています。

亡くなってしまった友人とかも、
またどこかできっと会えるんじゃないかと
希望を持っています。

おじいちゃんもおばあちゃんも、
寿命には抗えないので、
いつか必ずしにます。

近いうちにその時が来るかもしれない。

その時はどれだけ悲しい気持ちに襲われ、
どれだけ泣いてしまうか、
ぜんぜん想像がつきません。

でも一方で、
またどこかでできっと会えるという
個人的な希望もありますから、
意外と冷静に、
その時を迎えられるかもしれません。

今までの全ての経験、
そしてこれから起こる全ての経験を
全身で受け止め、咀嚼し、愛していけたら
と思うのです。

ちなみに今回の敬老の日ですが、
僕は東京で仕事や打ち合わせ等あるので、
群馬には帰らず、ギフトを贈りました。

悩んだんですけど、
結局当たり障りのないギフトになってしま
いました…。

健康と長寿を願うお花の置き物と、
神戸牛です。





大切なものを、大切にしていきましょう。

人生はきっと短いです。
僕らが考えてる以上にね。

以上です。ではでは

元陰キャラがSNSマーケで
毎月100万超えの自動化を達成した物語
→<https://f-lifelog.com/>